

新清水庁舎 建設検討通信



現在、再整備計画を進めている清水庁舎の検討状況についてお知らせしていくためのニュースレターです。ぜひお手にとってお読みください。

前回に続き新庁舎の機能・規模について検討したほか、階層構成・平面計画・配置計画などについて議論しました

7月19日(木)に、平成30年度第2回目となる「新清水庁舎建設検討委員会」を開催しました。

報告事項

- ◆**前回の議論のまとめ** 第1回検討委員会で出た意見とその対応状況を報告しました。
- ◆**PPP導入可能性調査（民間事業者の事業参画可能性調査）**
清水庁舎の建設にあたり、民間事業者の参加意欲を確認する調査を7月下旬から行っていくことを報告しました。

協議事項

- ◆**清水駅周辺のまちづくりの方向性・新庁舎のあり方**
 - ・駅東に官民の業務機能の集積を図り、駅の東西で機能を補完して、ウォーターフロントを含めた一体とするまちづくりの方針を示すと共に、清水区各方面から可能なアクセス環境の整備や周辺エリア・施設とのつながり、防災機能の強化など、新庁舎のあり方を示しました。
 - ◆**【継続】新庁舎の機能**
 - ・まちづくりの中の新庁舎のあり方および市民、区役所職員プロジェクトチーム等の意見をもとに、基本構想で定めた基本方針を具体化する整備方針案を示しました。
- 方針案抜粋

 - ★将来の人口減少を見据え配置変更等がしやすい執務室レイアウト
 - ★隣り合う施設と空中動線（ペDESTリアンデッキ）で結び、万一の津波発生時には周辺の人がどこに居ても安全に避難ができる庁舎を防災拠点とした緊急避難ネットワークを構築
 - ★庁舎機能の一部をまちなかに出し、官民の協働の場を創出
- ◆**【継続】新庁舎の規模について**
 - ・執務室の省スペース化や書庫・倉庫の一部を外部化するなど執務環境の効率化を進めながらも、会議室やロビーなどを多目的に使用することで市民も使えるスペースを充実させていく方針を示しました。
 - ◆**【新規】階層構成・平面計画の考え方について**
 - ・市民利用の多い窓口部門、市民への開放スペースを下層階に、一般執務室や設備機器、防災機能を中層階、市民利用の少ない執務室や会議室を上層階に配置する考えを示しました。
 - ◆**【新規】土地利用・配置計画の考え方について**
 - ・建設予定地の敷地のうち、庁舎を建てる区域以外の敷地に民間施設や他の行政機関の誘致などを行っていく方針を示しました。
 - ・これについては、民間事業者の意向調査を踏まえ、建設予定地内の配置計画を検討していくことを示しました。

委員から出た
主な意見

- ・「清水のまちがこう変わる」ということを市民に分かりやすく示すことが大切である。
- ・（庁舎が）海の近くに住み、津波の心配がある人々にも希望を与え、災害に耐えられる建物であれば、地域の人のためになる。
- ・ペDESTリアンデッキを幅の広いデッキで作ることで、避難広場としても使える。
- ・民間施設の誘致について、どんな用途の施設があるのが望ましいかということ、まち全体の視点で考える必要がある。
- ・災害時対応の一環としてヘリポートなどを設置を検討してほしい。

今後の予定について

■第3回 新清水庁舎建設検討委員会 平成30年9月11日（火）10：00～ 清水庁舎3階 313会議室
どなたでも傍聴が可能です。直接会場へお越しください。（全5回）

議事録や資料を各区役所に設置するほか、ホームページへも掲載していますのでそちらも併せてご覧ください。
清水庁舎のあり方についてのホームページ http://www.city.shizuoka.jp/153_000026.html

あなたのご意見・ご感想をお寄せください 静岡市企画局アセットマネジメント推進課

